

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー: 社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約100科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修できる。

■ 交流プログラムの質の保証

1. **第7回/第8回AIMSレビューミーティングへの参加**⇒構想責任者、本プログラム (Sophia AIMS: SAIMS) 教職員が参加し、AIMSに関する情報収集およびSAIMSプログラムの紹介、関係者とのネットワーキングを行った。
2. **実地研修型ゼミナールにかかる事前調査および実施**⇒釧路の実地研修先を訪問し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。初年度は、受入学生2名を含む計12名がゼミに参加した。
3. **FDプログラム**⇒オーストラリアで開催された"2014 International Riversymposium"に実地研修型ゼミナール担当教職員が参加し、ゼミの成果を環境教育家に発表し、評価を行った。
4. **プログラム開発協議会の実施**⇒プログラム担当教職員および職員が平成27年度新規連携大学を含む全連携大学(4カ国7大学)を訪問し、学修環境を視察するとともに、双方のプログラムの質向上のため協議・情報共有を行った。また、連携大学2校のプログラムコーディネータが、本学を訪問した際には、プログラム詳細について綿密な打合せを行い、本学の学修環境を紹介した。
5. **SAIMS国際シンポジウムの実施**⇒12月に本学において「Higher Education Harmonization and Networking in East and Southeast Asia: How AIMS Program Can Contribute to an Emerging ASEAN Community」と題するシンポジウムを開催し、プログラム成果のアセスメントを行うとともに、ASEANと日本の大学の双方向的な交流を進める上での課題等について議論した。3月にはタイにおいて東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター(SEAMEO-RIHED)と共催で「AIMS Symposium: Quality Assurance in AIMS Program」と題するシンポジウムを開催。連携大学7校の代表者を招聘し、SAIMSプログラムを題材に、どのような分野の科目がモビリティを促進するかなど、国境を越えた学生プログラムの質の保証と今後の課題について議論した。

■ 交流プログラムの内容

ASEAN連携大学	上智大学 (Sophia AIMS)
<p>◆ インドネシア ボゴール農科大学: 食料科学技術 ガジャマダ大学: 農業、経済学</p> <p>◆ タイ チュラロンコン大学: 言語・文化、経済学 マヒドン大学: 国際ビジネス</p> <p>◆ フィリピン アテネオ・デ・マニラ大学: 言語・文化、経済学 デ・ラ・サール大学: 国際ビジネス、工学、経済学</p> <p>◆ マレーシア (H27より追加予定) マレーシア国民大学: 国際ビジネス、言語・文化</p>	<p>◆ 受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発入門」</p> <p>◆ 専任教員による新設科目6科目 Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City</p> <p>【工学】基礎環境科学、応用環境工学など23科目</p> <p>【言語・文化】Culture & Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど86科目</p> <p>◆ 豊富な選択科目群</p> <p>◆ Summer Session in Asian Studies (選択)</p> <p>◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers (選択)</p>
<p>【目標】 派遣 25~42人</p> <p>←</p> <p>→</p> <p>受入 27人</p>	<p>学融合型プログラム</p>

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は申請時の計画

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	10	9	11	2	12	11	12	2	14	13	13	2
学生の受入	0			8			27				27				27			

I: インドネシア T: タイ P: フィリピン M: マレーシア (H27より追加予定)

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション

URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>

Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

【受入】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および地域住民との交流

【派遣】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・第1期生による留学報告会の実施

